《第129回》　令和六年三月の作品

〈三月八日（金）　於・文京区民センター2E〉

梅林の隅に顔なき地蔵尊　（隆治）

白梅にたっぷり日射し蘆花の家　（一江）

源氏物語展

平安の王朝絵巻春を呼ぶ　（正佳）

樹々吠えて電線唸る春一番　（奉男）

一群（ひとむら）の河津桜や丘高く　（孝昭）

上野・光悦展

光悦のひかりに浸る春の午後　（正雄）

薄氷（うすらひ）をバリバリバリと孫の靴　（前歩）

ふるさとの名も無き山に春兆す　（芙紗）

美容院鏡の横にヒヤシンス　（平六）

「ありがとう感謝」を歌ひ春惜しむ　（貴美）